

第2期子ども司書講座 新聞 第8号

読み聞かせにチャレンジ！絵本の選び方

第8回は、読み聞かせにチャレンジです。子ども司書講座の最終回（第10回）にはなし会を開催します。今回は、その練習として、絵本の選び方や読み方について、お勉強をしました。

図書館で開催している読み聞かせは、おはなし会などで馴染みがあると思います。皆さんも小さい頃に参加したことがあるかもしれません。

絵本の読み聞かせは、文字だけでなく、絵もあるの、読む人と聴く人が本を通して、本の世界感や面白いなと思うことや感動したことなど、一緒に楽しむことができます。でも、いきなり読み聞かせをしてみよう！とチャレンジしてもうまくいきません。まずは、絵本選びからスタートです。

絵本は何といっても、絵をじっくり見ながらお話を聞かせてもらうのが楽しいですよ。お字の読めない子どもでも、耳から聞かせてもらうことでイメージがふくらみます。では、どんな絵本を選んだらよいのか、見てみましょう。



実際に絵本を選んでみるとむずかしいなあと思うかもしれません。絵本といっても、小さなものから大きなものまでありますし、ものがたりになっているものや、さがしもの、クイズ、字のない絵本など、いろいろな種類があります。小さい頃に読んで面白かったとか、みんなが知っている有名な絵本でもかまいません。いくつかの絵本を選んで読み比べしてみると良いかもしれません。

絵本の選び方

絵本を選ぶ前に考えてみよう！

1. 年齢 何歳くらいの子に読んであげようかな？
2. 人数 大人数かな？クラスの数くらい？
3. 時間 何冊くらい読めるかな？長いと飽きちゃうかな？
4. 環境 せっかくだから静かな場所を選んでもらいたいな

初めての読み聞かせなら、絵本は自分がおもしろいなと思った本や、ぜひ読んであげたいと思う本を選んでみると良いかもしれません。また、お友達に読むのか、小さいお子さんに読むのかによって本を選ぶのも大切です。大人数なら、みんながよく見える本を選ぶと良いでしょう。絵本選びのポイントをみてみましょう。

1. 大きさと種類 絵がはっきりしていて、聞いている人がよく見えるものを選ぶ
2. 読みやすさ 楽しい本を選んでも読みにくいと意味がありません。
3. バランス 絵と文のバランスが大切。同じ絵をずっと見てると飽きちゃうかも…。

絵本の扱い方



絵本を選んだ後は、読み方の練習です。でも、その前に、読み聞かせを上手に行うためのちょっとしたコツがあります。

1. 絵を見せるので、開きぐせ、めくりぐせをつけておこう。
2. 腕を伸ばして本のとじてある中央を下から片手でしっかりと持つ。
3. 自分の顔や体で絵を隠さないように気をつけよう。

ここまで出来たら読み方の練習です。読み方は次の第9回講座で勉強をします。練習として、下読みをしてみてください。ささい。ゆっくり、はっきりとした声で読むと良いでしょう。絵本のお話の内容が自然と頭の中に入ってくるようになります！